

# 遠隔教育特講

## 第4講 学習目標とその明確化

久世 均(岐阜女子大学)

## 第4講 学習目標とその明確化

### 【目的】

授業の設計の考え方において、1960年代に米国の教育工学研究者のロバート・メーガー（Robert F. Mager）は、次の3つの質問をすることで、授業の目標と評価方法を定めることの重要性について考える。

### 【学習到達目標】

- ロバート・メーガー（Robert F. Mager）の3つの質問について説明できる。
- 学習目標の明確化について具体例を挙げて説明できる。

## 第4講 学習目標とその明確化

### 1. ロバート・メーガー (Robert F. Mager) の3つの質問

- Where am I going?  
(どこへ行くのか?)

- How do I know when I get there?  
(たどりついたかどうかをどうやって知るのか?)

- How do I get there?  
(どうやってそこへ行くのか?)

# 第4講 学習目標とその明確化

## 2. 研修の目標の明確化

- 学習目標を明確に定義するための手段としては、具体的な目標やゴールを示していくこと
- 目標行動が評価される条件を明らかにすること
- 目的地までの道筋（すなわち学習方略）を明確にすること

# 課題

1. ロバート・メーガー（Robert F. Mager）の3つの質問について説明しなさい。
2. 学習目標の明確化について具体例を挙げて説明しなさい。

## 第4講 学習目標とその明確化

### 【目的】

授業の設計の考え方において、1960年代に米国の教育工学研究者のロバート・メーガー（Robert F. Mager）は、次の3つの質問をすることで、授業の目標と評価方法を定めることの重要性について考える。

### 【学習到達目標】

- ロバート・メーガー（Robert F. Mager）の3つの質問について説明できる。
- 学習目標の明確化について具体例を挙げて説明できる。

# 遠隔教育特講

## 第4講 学習目標とその明確化

久世 均(岐阜女子大学)